

NO.20

2010.7.26.発行

ぬくもり



岳切渓谷 キャンプ場開き

●CONTENTS

最新鋭マルチスライスCTのご紹介	2
医事統計総括表	3
栄養サポートチームの活動	4
宇佐高田NST研究会	4
業務改善報告	5
ご意見いただきました	5
看護週間	6
1日看護師体験	6
ボランティア紹介	7
新入職員紹介	7
外来担当医師一覧表	8

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践



基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

最新鋭128スライス マルチスライスCTのご紹介

今年の3月に導入したマルチスライスCTは、より低被ばく・高画質といった日常検査への対応や複雑で安全な造影検査など、複雑化する臨床ニーズに対応できます。

このマルチスライスCTの特徴としては、1回転あたり128枚の写真を得ることが可能ですので、血管等の細かい像の描出に大変優れています。

特に心臓を栄養している冠動脈の血管の石灰化と狭窄に有用で、心臓カテーテル検査を行わず、低侵襲な検査で冠動脈の診断や経皮的冠動脈ステント留置術後の経過観察を行うことが可能です。

<検査の流れ>

- ①予約を行います。原則午後の検査になります。
- ②検査1時間前に β 遮断薬を服用します。
- ③検査5分前にニトロ製剤を舌下服用します。
- ④検査は30分程度で終了します。

尚、6月までの4か月間で冠動脈CTの検査は35件でした。

■図1、2は冠動脈の全体像です。

心臓を栄養している血管は3本です。右冠動脈（RCA）、左冠動脈（LAD）、回旋枝（CX）。

体重による適切な量の造影剤を注入（4 ml/sec、1秒間に4 ccの速さ）、同時に約15秒間の息止めをすることによって、検査を行います。

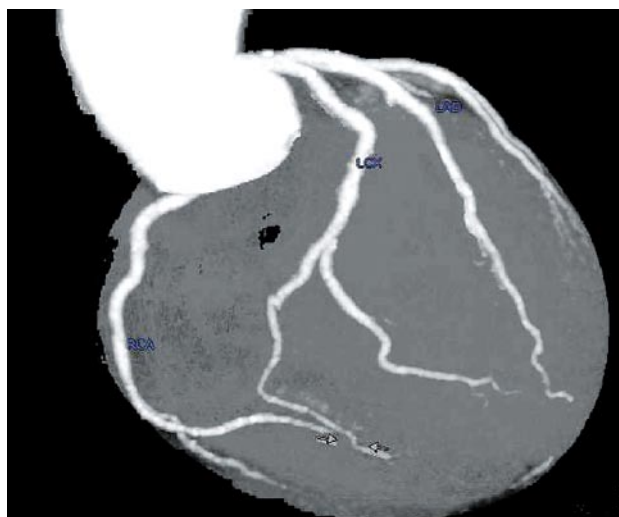


図1 冠動脈全体

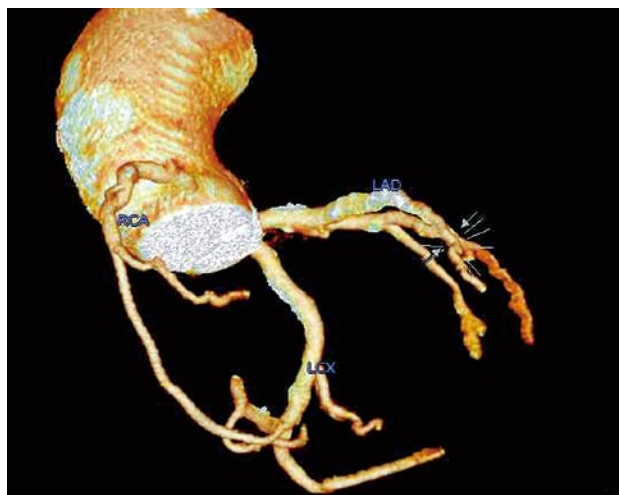


図2 冠動脈全体

画像解析専用機によって図1、2のような各動脈を抽出して、血管の石灰化、狭窄の診断や経皮的冠動脈ステント留置術後（風船治療）結果の経過観察や、冠動脈バイパス手術の確認検査を行っています。

その他、以下のような疾患の診断に役立ちます。

■図3は肝細胞癌の画像です。

癌へ栄養している血管を描出します。

体重による適切な量の造影剤を注入（3ml/sec、1秒間に3ccの速さ）し、約10秒間の息止めをしてもらい、検査を行います。

経動脈的塞栓術の術前検査に有用です。

（※癌へ栄養が行かないように塞栓物質を血管に詰める手術）



図3 肝細胞癌

■図4は総胆管及び胆石の画像です。

胆のう造影DIC-CTの画像です。胆のう造影後にCT検査を行います。

CT検査自体は5～6秒間で終わります。

画像解析専用機により肝内胆管、総胆管胆石を抽出します。

腹腔鏡下胆嚢摘出術の術前検査に有用です。

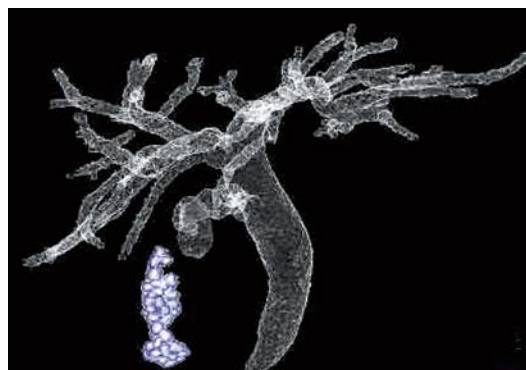


図4 総胆管全体

■図5は下肢動脈の画像です。

下肢動脈、静脈の血栓の診断を行います。

造影剤を体重によって100ccか80ccを注入（2ml/sec、1秒間に2ccの速さ）し、約10秒間の息止めをしてもらい、検査を行います。

肺梗塞診断のとき下肢血栓の診断に有用です。



図5 下肢動脈全体

■医事統計総括表（4月～6月）

		4月		5月		6月	
		21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度
外来患者延べ人数(人)		1,477	1,388	1,445	1,331	1,624	1,509
1日平均入院患者数(人)		90.7	84.7	85.0	86.6	65.6	84.2
科別内訳	循環器	19.4	20.2	19.8	18.8	9.2	19.6
	消化器	20.8	16.5	17.1	13.5	15.0	18.1
	外科	30.1	23.9	26.5	33.3	21.6	30.5
	呼吸器	20.4	24.1	21.6	21.0	19.7	15.9
平均在院日数(日)		16.9	16.4	15.9	17.9	12.5	15.5
病床利用率(%)		82.5	77.0	77.3	78.7	59.6	76.5
紹介患者数(人)		340	316	296	322	393	390
患者紹介率(%)		87.3	86.0	91.6	88.8	86.7	78.4
救急車搬入件数(件)		74	68	79	83	64	71

栄養サポートチーム (NST)の活動

急性期の入院医療を行う一般病棟において、栄養障害を生じている患者さん又は栄養障害を生じるリスクの高い患者さんに対して、栄養サポートチームを編成し、栄養状態改善の取組が行われた場合の評価として栄養サポートチーム加算が今年の4月より新設されました。

当院には、栄養管理に関わる所定の研修を終了



NST回診の様子

した常勤医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、そして私、管理栄養士がいます。そこで、私が栄養サポートチームの専従をすることになりました。

栄養サポートチームのメンバーは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、社会福祉士、事務職員などから構成されています。それぞれの立場から一人の患者さんを見て、栄養管理をしています。

活動の流れは栄養状態の低下している患者さんに対して、早くから関わることで、早期治癒・早期退院を目的に、週1回の回診、カンファレンスを実施して今後のプランを立てていきます。そのプランを実行、検討しながら経過を見ていきます。

委員会との連携を取り褥瘡・緩和・感染などがある患者さんに対しても、栄養状態の改善を目指しています。患者さんそれぞれの栄養管理を行い、早期治癒・早期退院ができるようサポートし活動していきます。



管理栄養士
佐藤 昌代



第3回宇佐高田NST研究会

6月30日(水)18時より大研修室にて第3回宇佐高田NST研究会を摂食機能療法について(口腔ケアと摂食機能療法の加算について)のテーマで行いました。今回より、この会の名称を宇佐高田NST研究会としました。栄養についての地域連携の充実を図ることを目的にしていますので、会の名称やテーマなどを地域の世話人の方と当院のNST実務委員とで話し合っ

て決めました。NST専門療法士の小野看護師が当院の摂食機能療法を紹介し、その後グループ毎に情報交換を行いました。

今回は13の機関より48名の出席があり、アンケートでは『とても良かった、良かった』と回答した人がほぼ100%でした。「身近な情報がわかって実行しやすい。もっと時間がたっぷりあったら良いと思う。」「口腔ケアについては、全病院、施設すべてに関することなので、とても参考になりました。シリーズをお願いします。」など前向きなご意見を多数頂きました。

今後も、地域の世話人の方と協力し、この会を継続していきたいと思います。

医療連携室 吉田 茂樹



業務改善報告

平成21年度委員会年間報告研修会にて発表

7月14日（水）、病院教育委員会主催の委員会年間報告研修会があり、その中で、看護助手研究報告をしました。

今年度の看護助手全体の目標として、経費削減をあげ、その中でもペーパータオルの使用が多いのが気になり、アンケート調査を行い、ペーパータオルに関する関心度、実態状況を調べました。

色水で手を洗い、ペーパータオルで拭き、水分量を測るという実験を

思わず
たくさん使って
ませんか？



行いました。その結果、実際手に残っている水分は、平均3mlでした。1枚・2枚・3枚と5枚まで重ねて拭いても、水分の吸収力の変化はなく、1枚でしっかり水分を拭き取り、2枚目で拭きあげた方が、指間の水分も拭き取れやすいことが分かりました。枚数が多い方が良く吸い取るし衛生的で安全であると思っていましたが、それは今回の実験では間違いと分析しました。

職員一人ひとりの少しの心掛けで、経費削減につながると感じました。これからペーパータオルを使用するとき、少しでも気にかけて無駄使いが減っていけば、本当の意味で私たちの業務改善ができると思います。

看護助手一同



ご意見いただきました

ご意見ありがとうございました。
文責 院長 柏木 孝仁

▼ご意見①

ベッドが古くて、ギシギシきしみます。

お答え①

ご迷惑をおかけしております。

9月中に、新しいベッドと入れ替えを検討中です。

▼ご意見②

部屋（6人）が狭い。荷物を置くのも不便です。

お答え②

建物の構造上、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

▼ご意見③

看護師さんの態度が悪く、イライラしました。入院している身内を心配してきているのに。言い方を考えたらどうでしょうか。

お答え③

不愉快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。

患者サービスに対する基本である接遇について、徹底的に職員教育をしていきたいと思えます。

貴重なご指摘ありがとうございました。

看護週間

H.22年
5月9日～15日

5月12日は「看護の日」。フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで1990年に旧厚生省によって制定され、ちょうど20年目を迎えます。当院での催しは今年で9回目です。

例年のように看護の日の催しとして血圧測定、栄養相談、コンサート、AED実習を行いました。また今年は検診センターコーナーを設け、ポスター展示、パンフレット配布を行いました。

『看護の心をみんなの心に』をテーマに、入院・外来患者さんやそのご家族やご面会の方々に大勢集まっていただき、お話を聞かせていただくことができました。またバイオリンの音色に耳を傾けておられたりと楽しいひと時を過ごすことが出来たのではないかと思います。

3階病棟 看護師長 今永 茂美



当日は看護の日オリジナルのタオルハンカチと絆創膏を記念品としてお持ち帰りいただきました。

1日看護師体験



5月13日の
大分合同新聞に
掲載されました。

5月10日（月）平成22年度ふれあい看護体験に市内の高校生10名（宇佐高等学校4名、安心院高等学校6名）が当院にきました。

●5月10日 1日看護師体験を通して

「こんにちは」「すみません」「ありがとうございます」高校生が擦れ違う人や患者さん、スタッフに緊張した様子であいさつをする姿にとっても好印象を持ちました。

見慣れない看護処置やケアを見学したり、実際に患者さんと接することに学生の驚き、戸惑う様子が伝わり、私も説明しながら普段とは違う新鮮な気持ちで患者さんに接することが出来たと感じます。

また、高校生の生活の中で高齢者と触れ合うことや病院という施設に接する機会が少ないのだろうということも感じました。今回の体験を通して、看護師という仕事に少しでも興味を持ち、この職業を目指す学生が一人でも増えればと思います。

救急隊の方の協力でAEDの教習を受けたり、意見交換の場では学生の話の聞けたりと、私もとても勉強になった看護師体験でした。

3階病棟 看護師 林 幸絵

体験者の感想

- ・患者さんと話をしたり、体を洗ったりしたこと、爪を切ったことが印象に残った。
- ・吸引ケアを目の前で見学し驚いたが、大切に必要なことだとわかった。
- ・看護師の白衣が着れて良かった。
- ・人を思いやる気持ちと体力、コミュニケーションをとることが大事と思った。

ボランティア紹介

7月12日（月）～7月21日（水）に患者さまよりご提供頂いた手作りの作品を1階フロアの憩いの空間に展示させて頂きました。手作りのボトルシップをじっくり眺め「どうやって作るのだろう」と感動していました。

また、玄関前の花壇は、患者さまよりいただいた花の苗で美くなりました。本当にありがとうございました。



NEW FACE

新入職員紹介

よろしくお願いいたします。

- ①入職日
- ②所属
- ③モットー（一言）
- ④趣味



そのだ あきら
園田 光

- ①H22・7・1
- ②消化器科医師
- ③よろしくお願いします。
- ④楽器演奏



あらかわ
荒川ゆかり

- ①H22・4・14
- ②検診センター 看護師
- ③いつも笑顔で頑張ります。
- ④ウィンタースポーツ



- 8月21日（土）19時30分より病院の3階駐車場にて供養盆踊り大会を予定しています。
- 9月11日（土）13時～15時に宇佐高田地域成人病検診センター2階会議室にて、（社）大分県看護協会大分県ナースセンター主催で「看護学生・看護職の方の就職相談会（無料）」を行います。事前申し込みは不要です。



外来担当医師一覧表

平成22年7月1日現在

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	小野 英樹	中島 仁典	園田 光	中島 仁典	小野 英樹	中島 仁典
	内 視 鏡	園田 光	小野 英樹	小野 英樹	園田 光	園田 光	(再 来)
	循 環 器	副島 和典	陣林 伯男	副島 和典	陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外 科	蔵田 伸明	柏木 孝仁	村上 光彦	水内 祐介	柏木 孝仁	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
園田 光	消化器 肝臓病 内科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般

氏 名	専 門 領 域
副島 和典	循環器 内科一般
陣林 伯男	循環器科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般

氏 名	専 門 領 域
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
水内 祐介	消化器外科 外科一般

氏 名	専 門 領 域
三重野 斉	呼吸器科一般
黒田 芳信(非常勤)	呼吸器科一般



●ご案内図



●外来受付時間

午前 8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前 9:00~12:00 / 午後 2:00~ 5:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)

編集後記

岳切渓谷は、耶馬溪凝結溶岩が造った一枚岩の岩盤の上を、長さ約2kmにわたり清流が流れる渓谷です。

水深が浅いため、小さな子どもも沢歩きや川遊びを楽しむことができます。夏休みは、ご家族で遊びに出掛けてみてはいかがでしょうか。

たくさんの緑と冷たい清流が、夏の厳しい暑さを忘れさせてくれるスポットです。

広報委員

ぬくもり Vol.20 2010年7月26日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300 FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。